

1, 3-ジクロロプロペン (案)

今般の残留基準の検討については、農林水産大臣から食品安全委員会に対し、農薬取締法（昭和23年法律第82号）に基づく農薬の再評価に係る食品健康影響評価の要請がなされたことに伴い、食品安全委員会から農林水産大臣及び厚生労働大臣に食品健康影響評価の結果の通知がなされたこと、並びに農林水産省から消費者庁に農薬の再評価に係る連絡がなされたことから、農薬・動物用医薬品部会（以下「本部会」という。）において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

なお、今般の残留基準の設定に当たって、現行の残留基準の見直しが行われることから、本部会での審議後に内閣総理大臣から食品安全委員会に対して食品健康影響評価の要請を行うこととしている。

1. 概要

(1) 品目名：1, 3-ジクロロプロペン [1, 3-Dichloropropene (ISO)]

(2) 分類：農薬

(3) 用途：殺虫剤

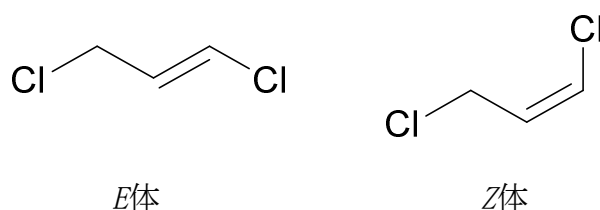
土壌くん蒸用に使用される殺虫剤（殺線虫剤）である。線虫の酵素の求核反応中心（チオール基、アミノ基、水酸基等）と化学結合をすることにより、酵素活性を阻害し、殺虫効果を示すと考えられている。

(4) 化学名及びCAS番号

(1*EZ*)-1, 3-Dichloroprop-1-ene (IUPAC)

1-Propene, 1, 3-dichloro- (CAS : No. 542-75-6)

(5) 構造式及び物性



(*E*体 : *Z*体 = 1.0 : 0.7~1.5)

分子式	$\text{C}_3\text{H}_4\text{Cl}_2$
分子量	110.97
水溶解度	<i>E</i> 体 2.52 g/L (20℃) <i>Z</i> 体 2.45 g/L (20℃)
分配係数	$\log_{10}\text{Pow} =$ <i>E</i> 体 2.1 (30℃) <i>Z</i> 体 1.82 (20℃)

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の国内における適用の範囲及び使用方は、別紙1のとおり。

3. 代謝試験

(1) 植物代謝試験

植物代謝試験が、レタス、ほうれんそう、だいず及びてんさいで実施されており、いずれの植物においても未変化の1,3-ジクロロプロペンの残留は微量であり、大部分は植物構成成分として取り込まれると考えられた。10%TRR^{注)}を超える代謝物は認められなかった。

注) %TRR：総放射性残留物 (TRR：Total Radioactive Residues) 濃度に対する比率 (%)

4. 作物残留試験

(1) 分析の概要

① 分析対象物質

・1,3-ジクロロプロペン (E体及びZ体)

② 分析法の概要

試料に水及び*n*-ヘキサン又は水及び酢酸エチルを加え、必要に応じてディーン・スターク蒸留装置又はそれに類する蒸留抽出装置を用いて加熱還流する。留出した*n*-ヘキサン及び水又は酢酸エチル及び水に必要に応じて塩化ナトリウムを加えて*n*-ヘキサン層又は酢酸エチル層を分取し、液相分離ろ紙又は無水硫酸ナトリウムで脱水し、必要に応じてフロリジル又はエチレンジアミン-*N*-プロピルシリル化シリカゲル (PSA) カラムを用いて精製した後、電子捕獲型検出器付きガスクロマトグラフ (GC-ECD) で定量する。

あるいは、試料から水及びメタノールで抽出し、ガスクロマトグラフ・質量分析計 (GC-MS) で定量する。

定量限界：1,3-ジクロロプロペン (E体及びZ体) 0.001~0.005 mg/kg

(2) 作物残留試験結果

国内作物残留試験成績の概要については別紙2を参照。

5. 許容一日摂取量 (ADI) 及び急性参照用量 (ARfD) の評価

食品安全基本法 (平成15年法律第48号) 第24条第3項の規定に基づき、農林水産大臣から食品安全委員会あて意見を求めた1,3-ジクロロプロペンに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

(1) ADI

ADI : 0.025 mg/kg体重/日

(ADI設定根拠資料) 慢性毒性/発がん性併合試験

(動物種) ラット

(期間) 2年間

(投与方法) 強制経口

(無毒性量) 2.5 mg/kg体重/日
(安全係数) 100

発がん性試験において、雌雄のラットで肝細胞腺腫の発生頻度増加が認められ、また、雌雄のマウスで細気管支肺胞腺腫の発生頻度増加が認められた。しかし、腫瘍の発生機序は遺伝毒性によるものとは考え難く、評価に当たり閾値を設定することは可能であると考えられた。

(2) ARfD

ARfD : 0.2 mg/kg体重

(ARfD設定根拠資料) 亜急性毒性試験

(動物種) イヌ

(期間) 2週間

(投与方法) 強制経口

(無毒性量) 20 mg/kg体重/日

(安全係数) 100

6. 諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価はなされておらず、国際基準も設定されていない。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国及びカナダにおいてどのように、EUにおいてにんじん、ばれいしょ等に、ニュージーランドにおいて野菜及び果実に基準値が設定されている。

7. 残留規制

(1) 残留の規制対象

1,3-ジクロロプロペン (E体) 及び1,3-ジクロロプロペン (Z体) とする。

植物代謝試験において、親化合物及び代謝物の残留はいずれも10%TRR未満であり、作物残留試験においても、すべての作物において親化合物の残留は定量限界未満であったことから、分析の実効性を考慮して残留の規制対象を1,3-ジクロロプロペン (E体) 及び1,3-ジクロロプロペン (Z体) とする。

(2) 基準値案

別紙3のとおりである。

8. 暴露評価

(1) 暴露評価対象

1,3-ジクロロプロペン (E体) 及び1,3-ジクロロプロペン (Z体) とする。

植物代謝試験において、親化合物及び代謝物の残留はいずれも10%TRR未満であり、適用後の親化合物は最終的にショ糖、セルロース、タンパク質等の植物構成成分として作物に取り込まれると考えられること、及び作物残留試験において、提出されたすべての作物残留試験で親化合物の残留は定量限界未満であったことから、暴露評価対象を1,3-ジクロロプロペン (E体) 及び1,3-ジクロロプロペン (Z体) とする。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、農産物中の暴露評価対象物質を1,3-ジクロロプロペン（親化合物のみ）としている。

（２）暴露評価結果

① 長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙4参照。

	EDI／ADI (%) ^{注)}
国民全体（1歳以上）	0.2
幼小児（1～6歳）	0.4
妊婦	0.2
高齢者（65歳以上）	0.2

注）各食品の平均摂取量は、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI試算法：作物残留試験成績の中央値（STMR）等×各食品の平均摂取量

② 短期（1日経口）暴露評価

各食品の短期推定摂取量（ESTI）を算出したところ、国民全体（1歳以上）及び幼小児（1～6歳）のそれぞれにおける摂取量はARfDを超えていない^{注)}。詳細な暴露評価は別紙5-1及び5-2参照。

注）基準値案、作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は作物残留試験における中央値（STMR）を用い、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成22年度の厚生労働科学研究の結果に基づきESTIを算出した。

1, 3-ジクロロプロペンの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2026年6月8日時点版

2020年09月8日 水曜日

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	散布液量	使用回数	1,3-ジクロロプロペンを含む農薬の総使用回数
だいず	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	20 L/10 a (1穴当たり2 mL)	作付の10～15日 前まで	—	1回	1回
			15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)				
らっかせい	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日 前まで	—	1回	1回
ばれいしょ	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	30～40 L/10 a (1穴当たり3～4 mL)	作付の10～15日 前まで	—	1回	1回
			15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)				
		全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し、直ちに覆土鎮圧する。	40 L/10 a (1穴当たり4 mL)				
		全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	30～40 L/10 a (1穴当たり3～4 mL)				
	60.0% GA 配合剤1	土壌くん蒸(30×30 cmごとの深さ15 cmの穴に1穴処理する。)	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日 前まで	—	1回	
	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日 前まで	—	1回	
			20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)				
さといも	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日 前まで	—	1回	1回
	60.0% GA 配合剤1	土壌くん蒸(30×30 cmごとの深さ15 cmの穴に1穴処理する。)	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日 前まで	—	1回	
	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)	作付の10～15日 前まで	—	1回	

1, 3-ジクロロプロペンの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2026年6月8日時点版

2020年07月8日時点							
作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	散布流量	使用回数	1,3-ジクロロプロペンを含む農薬の総使用回数
かんしょ	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
			15～30 L/10 a (1穴当たり1.5～3 mL)				
	60.0% GA 配合剤1	土壌くん蒸(30×30 cmごとの深さ15 cmの穴に1穴処理する。)	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)							
やまのいも	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
	60.0% GA 配合剤1	土壌くん蒸(30×30 cmごとの深さ15 cmの穴に1穴処理する。)	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
			20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)				
40.0% OL 配合剤3	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a	は種又は植付の21日前まで	—	1回		
		20～30 L/10 a					
こんにゃく	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
	60.0% GA 配合剤1	土壌くん蒸(30×30 cmごとの深さ15 cmの穴に1穴処理する。)	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
			20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)				
40.0% OL 配合剤3	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a	は種又は植付の21日前まで	—	1回		
		20～30 L/10 a					
てんさい	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回

1, 3-ジクロロプロペンの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2026年6月8日時点版

2020年6月8日時点

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	散布流量	使用回数	1,3-ジクロロプロペンを含む農薬の総使用回数
はつかだいこん	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
だいこん	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
	60.0% GA 配合剤1	土壌くん蒸(30×30 cmごとの深さ15 cmの穴に1穴処理する。)	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
			20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)				
	40.0% OL 配合剤3	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	30 L/10 a	は種又は植付の21日前まで	—	1回	
			30～40 L/10 a				
			20～30 L/10 a				
		圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7日後にガス抜き作業を行う。	30 L/10 a	は種又は植付の14日前まで(砂質土)			
30～40 L/10 a							
20～30 L/10 a							
かぶ	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
	60.0% GA 配合剤1	土壌くん蒸(30×30 cmごとの深さ15 cmの穴に1穴処理する。)	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
	40.0% OL 配合剤3	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	30 L/10 a	は種の21日前まで	—	1回	
			30～40 L/10 a				
			20～30 L/10 a				

1, 3-ジクロロプロペンの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2026年6月8日時点版

2020年09月8日時点追加

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	散布流量	使用回数	1,3-ジクロロプロペンを含む農薬の総使用回数
はくさい	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
		全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	20 L/10 a (1穴当たり2 mL)				
	60.0% GA 配合剤1	土壌くん蒸(30×30 cmごとの深さ15 cmの穴に1穴処理する。)	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
			20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)				
	40.0% OL 配合剤3	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	30 L/10 a	は種又は植付の21日前まで	—	1回	
			30～40 L/10 a				
			20～30 L/10 a				
キャベツ	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
		全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	20 L/10 a (1穴当たり2 mL)				
	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
			20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)				
	40.0% OL 配合剤3	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	40 L/10 a	は種又は植付の21日前まで	—	1回	
			30～40 L/10 a				
20～30 L/10 a							
こまつな	60.0% GA 配合剤1	土壌くん蒸(30×30 cmごとの深さ15 cmの穴に1穴処理する。)	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
カリフラワー	97.0% OL	全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	20 L/10 a (1穴当たり2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
ブロッコリー	97.0% OL	全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	20 L/10 a (1穴当たり2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回

1, 3-ジクロロプロペンの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2026年6月8日時点版

2020年0月8日時点追加							
作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	散布流量	使用回数	1,3-ジクロロプロペンを含む農薬の総使用回数
非結球あぶらな科 葉菜類	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
ごぼう	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
	60.0% GA 配合剤1	土壌くん蒸(30×30 cmごとの深さ15 cmの穴に1穴処理する。)	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
			20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)				
40.0% OL 配合剤3	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a	は種の21日前まで	—	1回		
		20～30 L/10 a					
レタス	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
	60.0% GA 配合剤1	土壌くん蒸(30×30 cmごとの深さ15 cmの穴に1穴処理する。)	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
	40.0% OL 配合剤3	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	30 L/10 a	は種又は植付の21日前まで	—	1回	
30～40 L/10 a							
20～30 L/10 a							
非結球レタス	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
	60.0% GA 配合剤1	土壌くん蒸(30×30 cmごとの深さ15 cmの穴に1穴処理する。)	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
	40.0% OL 配合剤3	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	30 L/10 a	は種又は植付の21日前まで	—	1回	
			30～40 L/10 a				
			20～30 L/10 a				

1, 3-ジクロロプロペンの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2026年6月8日時点版

2020年07月8日時点

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	散布流量	使用回数	1,3-ジクロロプロペンを含む農薬の総使用回数
ふき	40.0% OL 配合剤3	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	30 L/10 a	植付の30日前まで	—	1回	1回
			20～30 L/10 a				
もりあざみ	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
食用ぎく	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
たまねぎ	40.0% OL 配合剤3	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	30 L/10 a	は種又は植付の14日前まで	—	1回	1回
			30～40 L/10 a				
			20～30 L/10 a				
ねぎ	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
		全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	20 L/10 a (1穴当たり2 mL)				
	60.0% GA 配合剤1	土壌くん蒸(30×30 cmごとの深さ15 cmの穴に1穴処理する。)	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
			20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)				
	40.0% OL 配合剤3	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	40 L/10 a	は種又は植付の14日前まで	—	1回	
			30～40 L/10 a 20～30 L/10 a				
にんにく	40.0% OL 配合剤3	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	30 L/10 a	は種又は植付の30日前まで	—	1回	1回
			20～30 L/10 a				
にら	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回

1, 3-ジクロロプロペンの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2026年6月8日時点版

2020年6月8日時点							
作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	散布液量	使用回数	1,3-ジクロロプロペンを含む農薬の総使用回数
わけぎ	40.0% OL 配合剤3	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	40 L/10 a	は種又は植付の14日前まで	－	1回	1回
			30～40 L/10 a				
			20～30 L/10 a				
あさつき	40.0% OL 配合剤3	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	40 L/10 a	は種又は植付の14日前まで	－	1回	1回
			30～40 L/10 a				
			20～30 L/10 a				
らっきょう	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	－	1回	1回
			40.0% OL 配合剤3				
	20～30 L/10 a						
	にんじん	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	－	
60.0% GA 配合剤1		土壌くん蒸(30×30 cmごとの深さ15 cmの穴に1穴処理する。)	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	－	1回	
54.5% GA 配合剤2		耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	－	1回	
			20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)				
40.0% OL 配合剤3		圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a	は種又は植付の21日前まで	－	1回	
			20～30 L/10 a				
パセリ	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	－	1回	1回
			20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)				
セルリー	60.0% GA 配合剤1	土壌くん蒸(30×30 cmごとの深さ15 cmの穴に1穴処理する。)	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	－	1回	1回
	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	－	1回	
			20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)				
せり科葉菜類	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	－	1回	1回

1, 3-ジクロロプロペンの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2026年6月8日時点版

2020年07月8日時点追加

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	散布液量	使用回数	1,3-ジクロロプロペンを含む農薬の総使用回数
トマト	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
	60.0% GA 配合剤1	土壌くん蒸(30×30 cmごとの深さ15 cmの穴に1穴処理する。)	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
			20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)				
	40.0% OL 配合剤3	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	40 L/10 a	は種又は植付の21日前まで	—	1回	
			30 L/10 a				
			30～40 L/10 a				
			20～30 L/10 a				
ミニトマト	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
	60.0% GA 配合剤1	土壌くん蒸(30×30 cmごとの深さ15 cmの穴に1穴処理する。)	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
			20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)				
	40.0% OL 配合剤3	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	40 L/10 a	は種又は植付の21日前まで	—	1回	
			30 L/10 a				
			30～40 L/10 a				
			20～30 L/10 a				
ピーマン	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
	60.0% GA 配合剤1	土壌くん蒸(30×30 cmごとの深さ15 cmの穴に1穴処理する。)	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
			20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)				

1, 3-ジクロロプロペンの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2026年6月8日時点版

2020年09月8日時点追加

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	散布流量	使用回数	1,3-ジクロロプロペンを含む農薬の 総使用回数
なす	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
	60.0% GA 配合剤1	土壌くん蒸(30×30 cmごとの深さ15 cmの穴に1穴処理する。)	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
			20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)				
40.0% OL 配合剤3	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	30 L/10 a	は種又は植付の21日前まで	—	1回		
		20～30 L/10 a					
とうがらし類	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
	60.0% GA 配合剤1	土壌くん蒸(30×30 cmごとの深さ15 cmの穴に1穴処理する。)	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
			20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)				
きゅうり	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
	60.0% GA 配合剤1	土壌くん蒸(30×30 cmごとの深さ15 cmの穴に1穴処理する。)	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
			20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)				
	40.0% OL 配合剤3	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a	は種又は植付の21日前まで	—	1回	
			20～30 L/10 a				

1, 3-ジクロロプロペンの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2026年6月8日時点版

2020年0月8日時点追加

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	散布流量	使用回数	1,3-ジクロロプロペンを含む農薬の総使用回数
かぼちゃ	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
	60.0% GA 配合剤1	土壌くん蒸(30×30 cmごとの深さ15 cmの穴に1穴処理する。)	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	30 L/10 a (1穴当たり3 mL) 20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
すいか	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
	60.0% GA 配合剤1	土壌くん蒸(30×30 cmごとの深さ15 cmの穴に1穴処理する。)	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	30 L/10 a (1穴当たり3 mL) 20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
	40.0% OL 配合剤3	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a 20～30 L/10 a	は種又は植付の21日前まで	—	1回	
メロン	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
	60.0% GA 配合剤1	土壌くん蒸(30×30 cmごとの深さ15 cmの穴に1穴処理する。)	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	30 L/10 a (1穴当たり3 mL) 20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
	40.0% OL 配合剤3	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a 20～30 L/10 a	は種又は植付の30日前まで	—	1回	

1, 3-ジクロロプロペンの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2026年6月8日時点版

2020年07月8日時点追加

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	散布流量	使用回数	1,3-ジクロロプロペンを含む農薬の総使用回数
まくわうり	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
うり類(漬物用)	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
いがうり	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
	60.0% GA 配合剤1	土壌くん蒸(30×30 cmごとの深さ15 cmの穴に1穴処理する。)	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
ほうれんそう	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
		全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	20 L/10 a (1穴当たり2 mL)				
	60.0% GA 配合剤1	土壌くん蒸(30×30 cmごとの深さ15 cmの穴に1穴処理する。)	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
	40.0% OL 配合剤3	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	40 L/10 a	は種の30日前まで	—	1回	
			30 L/10 a				
		30～40 L/10 a					
		20～30 L/10 a					

1, 3-ジクロロプロペンの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2026年6月8日時点版

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	散布量	使用回数	1, 3-ジクロロプロペンを含む農薬の総使用回数
オクラ	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
	60.0% GA 配合剤1	土壌くん蒸(30×30 cmごとの深さ15 cmの穴に1穴処理する。)	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	30 L/10 a (1穴当たり3 mL) 20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
しょうが	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
	60.0% GA 配合剤1	土壌くん蒸(30×30 cmごとの深さ15 cmの穴に1穴処理する。)	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	30 L/10 a (1穴当たり3 mL) 20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
	40.0% OL 配合剤3	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a 20～30 L/10 a	は種又は植付の21日前まで	—	1回	
葉しょうが	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
さやえんどう	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
実えんどう	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
さやいんげん	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	

1, 3-ジクロロプロペンの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2026年6月8日時点版

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	散布液量	使用回数	1, 3-ジクロロプロペンを含む農薬の総使用回数
えだまめ	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	20 L/10 a (1穴当たり2 mL) 15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
豆類(未成熟、ただし、えだまめ、さやいんげんを除く)	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
豆類(未成熟、ただし、さやいんげん、未成熟そらまめ、さやえんどう、実えんどうを除く)	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
未成熟そらまめ	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
うど	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
つるむらさき	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回

1, 3-ジクロロプロペンの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2026年6月8日時点版

2020年0月8日時点追加

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	散布液量	使用回数	1,3-ジクロロプロペンを含む農薬の総使用回数
いちご	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
	60.0% GA 配合剤1	土壌くん蒸(30×30 cmごとの深さ15 cmの穴に1穴処理する。)	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
			20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)				
	40.0% OL 配合剤3	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	30 L/10 a	は種又は植付の21日前まで	—	1回	
			30～40 L/10 a				
			20～30 L/10 a				
しそ	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
しそ(花穂)	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
バジル	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回

1, 3-ジクロロプロペンの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2026年6月8日時点版

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	散布液量	使用回数	1, 3-ジクロロプロペンを含む農薬の総使用回数
みょうが(花穂)	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
	60.0% GA 配合剤1	土壌くん蒸(30×30 cmごとの深さ15 cmの穴に1穴処理する。)	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
みょうが(茎葉)	97.0% OL	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	15～20 L/10 a (1穴当たり1.5～2 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	1回
	60.0% GA 配合剤1	土壌くん蒸(30×30 cmごとの深さ15 cmの穴に1穴処理する。)	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	
	54.5% GA 配合剤2	耕起整地後、30 cm間隔の千鳥状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	20～30 L/10 a (1穴当たり2～3 mL)	作付の10～15日前まで	—	1回	

OL：油剤

GA：くん蒸剤

配合剤1：35.0%クロルピクリン

配合剤2：41.5%クロルピクリン

配合剤3：20.0%メチルイソチオシアネート

—：規定されていない項目

1,3-ジクロロプロペンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件					各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) 注1)	各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注2) 【E体/Z体】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	使用時期			
大豆 (乾燥子実)	1	55.0% OL	20 L/10 a 土壌かん注	1	94	作付の13日前処理	圃場A:<0.02 (＃)	圃場A:<0.01/<0.01 (＃) a	
	2		40 L/10 a 土壌かん注	1	94	作付の13日前処理	圃場A:<0.02 (＃)	圃場A:<0.01/<0.01 (＃) a	
	4	97.0% OL			30 L/10 a 土壌かん注	1	161	作付の17日前処理	圃場B:<0.004 (＃)
			190	作付の14日前処理			圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃) a	
			112	作付の14日前処理			圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃) a	
			132	作付の10日前処理			圃場C:<0.002 (＃)	圃場C:<0.001/<0.001 (＃) a	
136	作付の24日前処理	圃場D:<0.002 (＃)	圃場D:<0.001/<0.001 (＃) a						
らっかせい (乾燥子実)	2	55.0% OL	40 L/10 a 土壌かん注	1	167	作付の17日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃) a	◎
	2	97.0% OL	30 L/10 a 土壌かん注	1	197	作付の14日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃) a	
					113	作付の14日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃) a	
					150	作付の14日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃) a	
ばれいしょ (塊茎)	2	55.0% OL	40 L/10 a 土壌かん注	1	132	作付の16日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃) a	
	2	97.0% OL	40 L/10 a 土壌かん注	2	361	作付の218日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃) a	
					112	作付の24, 14日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃) a	
					112	作付の27, 16日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃) a	
2	2	1	83	作付の12日前処理	圃場A:<0.002	圃場A:<0.001/<0.001 a			
105			作付の13日前処理	圃場B:<0.002	圃場B:<0.001/<0.001 a				
さといも (球茎)	2	97.0% OL	30 L/10 a 土壌かん注	1	210	作付の14日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃)	◎
	177	作付の14日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃)					
かんしょ (塊根)	2	55.0% OL	40 L/10 a 土壌かん注	1	138	作付の18日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃) a	
			44 L/10 a 土壌かん注		154	作付の30日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃) a	
	2	97.0% OL	30 L/10 a 土壌かん注	1	132	作付の11日前処理	圃場A:<0.002	圃場A:<0.001/<0.001 a	
					132	作付の14日前処理	圃場B:<0.002	圃場B:<0.001/<0.001 a	
やまのいも (塊根)	2	55.0% OL	40 L/10 a 土壌かん注	1	162	作付の6日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.0008 (＃) \$ a	◎
	2	97.0% OL	20又は30 L/10 a 土壌かん注	1	195	作付の14日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.0008 (＃) \$ a	
					174	作付の11日前処理	圃場A:<0.002	圃場A:<0.001/<0.001	
					168	作付の22日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃)	
こんにゃくいも (塊茎)	2	55.0% OL	20 L/10 a 土壌かん注	1	175	作付の25日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃) a	◎
	2		40 L/10 a 土壌かん注	1	204	作付の21日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃) a	
					175	作付の25日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃) a	
	2	97.0% OL	30 L/10 a 土壌かん注	1	204	作付の21日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃) a	
					112	作付の14日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃) a	
					169	作付の14日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃)	
てんさい (塊根)	2	55.0% OL	40 L/10 a 土壌かん注	1	367	作付の209日前処理	圃場A:<0.006 (＃)	圃場A:<0.003/<0.003 (＃) a	
	2		60 L/10 a 土壌かん注	1	361	作付の194日前処理	圃場B:<0.006 (＃)	圃場B:<0.003/<0.003 (＃) a	
					367	作付の209日前処理	圃場A:<0.006 (＃)	圃場A:<0.003/<0.003 (＃) a	
	てんさい (茎葉部)	2	55.0% OL	40 L/10 a 土壌かん注	1	367	作付の209日前処理	圃場A:<0.006 (＃)	
2		60 L/10 a 土壌かん注		1	361	作付の194日前処理	圃場B:<0.006 (＃)	圃場B:<0.003/<0.003 (＃) a	
					367	作付の209日前処理	圃場A:<0.006 (＃)	圃場A:<0.003/<0.003 (＃) a	
2		97.0% OL	30 L/10 a 土壌かん注	1	361	作付の194日前処理	圃場B:<0.006 (＃)	圃場B:<0.003/<0.003 (＃) a	
てんさい (根部)	2	97.0% OL	30 L/10 a 土壌かん注	1	382	作付の224日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃) a	
					387	作付の218日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃) a	
					382	作付の224日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃) a	
だいこん (根部)	2	55.0% OL	40 L/10 a 土壌かん注	1	86	作付の18日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.0008 (＃) \$ a	
	151		作付の13日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃) a				
	4	97.0% OL	30 L/10 a 土壌かん注	1	80	作付の12日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃) a	
					91	作付の22日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃) a	
					73	作付の10日前処理	圃場C:<0.002 (＃)	圃場C:<0.001/<0.001 (＃)	
65	作付の9日前処理	圃場D:<0.002 (＃)	圃場D:<0.001/<0.001 (＃)						
だいこん (葉部)	2	55.0% OL	40 L/10 a 土壌かん注	1	86	作付の18日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.0008 (＃) \$ a	
	151		作付の13日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃) a				
	4	97.0% OL	30 L/10 a 土壌かん注	1	80	作付の12日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃) a	
					91	作付の22日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃) a	
					73	作付の10日前処理	圃場C:<0.002 (＃)	圃場C:<0.001/<0.001 (＃)	
65	作付の9日前処理	圃場D:<0.002 (＃)	圃場D:<0.001/<0.001 (＃)						
はつかだいこん (葉部)	2	97.0% OL	20 L/10 a 土壌かん注	1	42	作付の10日前処理	圃場A:<0.002	圃場A:<0.001/<0.001	◎
	41	作付の14日前処理	圃場B:<0.002	圃場B:<0.001/<0.001					
はつかだいこん (根部)	2	97.0% OL	20 L/10 a 土壌かん注	1	42	作付の10日前処理	圃場A:<0.002	圃場A:<0.001/<0.001	◎
	41	作付の14日前処理	圃場B:<0.002	圃場B:<0.001/<0.001					
だいこん (つまみ菜) (茎葉部)	1	97.0% OL	20 L/10 a 土壌かん注	1	20	作付の10日前処理	圃場A:<0.002	圃場A:<0.001/<0.001	
だいこん (間引き菜) (茎葉部)	1	97.0% OL	20 L/10 a 土壌かん注	1	25	作付の10日前処理	圃場A:<0.002	圃場A:<0.001/<0.001	

1, 3-ジクロロプロペンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件					各化合物の残留濃度の合計	各化合物の残留濃度 (mg/kg) ^{注2)}	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	使用時期	(mg/kg) ^{注1)}	【E体/Z体】	
かぶ (根部)	4	97.0% OL	30 L/10 a 土壌かん注	1	59	作付の14日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃)	◎
					62	作付の14日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃)	
					57	作付の14日前処理	圃場C:<0.002 (＃)	圃場C:<0.001/<0.001 (＃)	
					48	作付の14日前処理	圃場D:<0.002 (＃)	圃場D:<0.001/<0.001 (＃)	
かぶ (葉部)	4	97.0% OL	30 L/10 a 土壌かん注	1	59	作付の14日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃)	◎
					62	作付の14日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃)	
					57	作付の14日前処理	圃場C:<0.002 (＃)	圃場C:<0.001/<0.001 (＃)	
					48	作付の14日前処理	圃場D:<0.002 (＃)	圃場D:<0.001/<0.001 (＃)	
はくさい (茎葉部)	2	55.0% OL	20 L/10 a 土壌かん注	1	110	作付の10日前処理	圃場A:<0.02 (＃)	圃場A:<0.01/<0.01 (＃) a	◎
					97	作付の10日前処理	圃場B:<0.02 (＃)	圃場B:<0.01/<0.01 (＃) a	
	2		40 L/10 a 土壌かん注	1	110	作付の10日前処理	圃場A:<0.02 (＃)	圃場A:<0.01/<0.01 (＃) a	
					97	作付の10日前処理	圃場B:<0.02 (＃)	圃場B:<0.01/<0.01 (＃) a	
	4	97.0% OL	30 L/10 a 土壌かん注	1	77	作付の14日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃) a	
					125	作付の16日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃)	
					87	作付の12日前処理	圃場C:<0.002 (＃)	圃場C:<0.001/<0.001 (＃)	
					78	作付の9日前処理	圃場D:<0.002 (＃)	圃場D:<0.001/<0.001 (＃)	
キャベツ (茎葉部)	2	97.0% OL	30 L/10 a 土壌かん注	1	71	作付の13日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃)	◎
					69	作付の12日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃)	
こまつな (茎葉部)	2	97.0% OL	30 L/10 a 土壌かん注	1	34	作付の14日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃) a	◎
					34	作付の14日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃) a	
	2		20 L/10 a 土壌かん注	1	56	作付の10日前処理	圃場A:<0.002	圃場A:<0.001/<0.001	
					62	作付の10日前処理	圃場B:<0.002	圃場B:<0.001/<0.001	
みずな (茎葉部)	2	97.0% OL	20 L/10 a 土壌かん注	1	65	作付の10日前処理	圃場A:<0.002	圃場A:<0.001/<0.001	◎
					65	作付の10日前処理	圃場B:<0.002	圃場B:<0.001/<0.001	
チンゲンサイ (茎葉部)	2	97.0% OL	20 L/10 a 土壌かん注	1	37	作付の10日前処理	圃場A:<0.002	圃場A:<0.001/<0.001	◎
					31	作付の10日前処理	圃場B:<0.002	圃場B:<0.001/<0.001	
ブロッコリー (花蕾)	3	97.0% OL	20 L/10 a 土壌かん注	1	106	作付の10日前処理	圃場A:<0.002	圃場A:<0.001/<0.001	◎
					65	作付の10日前処理	圃場B:<0.002	圃場B:<0.001/<0.001	
					90	作付の10日前処理	圃場C:<0.002	圃場C:<0.001/<0.001	
ごぼう (根部)	4	97.0% OL	30～30.9 L/10 a 土壌かん注	1	190	作付の14日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃)	◎
					166	作付の14日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃)	
					184	作付の15日前処理	圃場C:<0.002 (＃)	圃場C:<0.001/<0.001 (＃)	
					184	作付の10日前処理	圃場D:<0.002 (＃)	圃場D:<0.001/<0.001 (＃)	
レタス (茎葉部)	3	97.0% OL	30 L/10 a 土壌かん注	1	55	作付の14日前処理	圃場A:<0.02 (＃)	圃場A:<0.01/<0.01 (＃)	◎
					62	作付の14日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃) a	
					63	作付の18日前処理	圃場C:<0.002 (＃)	圃場C:<0.001/<0.001 (＃)	
食用ぎく (花器全体)	2	97.0% OL	31.2又は28.3 L/10 a 土壌かん注	1	113	作付の10日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃)	◎
					112	作付の12日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃)	
ふき (葉柄)	2	40.0% OL	30 L/10 a 土壌かん注	1	138	作付の35日前処理	圃場A:<0.002	圃場A:<0.001/<0.001	◎
					115	作付の31日前処理	圃場B:<0.002	圃場B:<0.001/<0.001	
もりあざみ (根部)	2	97.0% OL	20 L/10 a 土壌かん注	1	126	作付の15日前処理	圃場A:<0.005	圃場A:<0.0025/<0.0025	◎
					126	作付の15日前処理	圃場B:<0.005	圃場B:<0.0025/<0.0025	
たまねぎ (鱗茎)	2	40.0% OL	46.2又は40 L/10 a 土壌かん注	1	194, 201, 208	作付の14日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (*1回, 194日) (＃)	◎
					185, 192, 199	作付の14日前処理	圃場B:<0.002	圃場B:<0.001/<0.001 (*1回, 185日)	
	2		46.6又は40 L/10 a 土壌かん注	1	201, 208, 215	作付の21日前処理	圃場C:<0.002 (＃)	圃場C:<0.001/<0.001 (*1回, 201日) (＃)	
					185, 192, 199	作付の21日前処理	圃場D:<0.002	圃場D:<0.001/<0.001 (*1回, 185日)	
ねぎ (根深ねぎ) (茎葉)	1	97.0% OL	20 L/10 a 土壌かん注	1	176	作付の10日前処理	圃場A:<0.011	圃場A:<0.006/<0.006\$	◎
ねぎ (葉ねぎ) (茎葉)	1	97.0% OL	20 L/10 a 土壌かん注	1	77	作付の10日前処理	圃場A:<0.011	圃場A:<0.006/<0.006\$	◎
にんにく (鱗茎)	2	40.0% OL	40 L/10 a 土壌かん注	1	292	作付の28日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃)	◎
					239	作付の28日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃)	
にら (茎葉部)	2	97.0% OL	20 L/10 a 土壌かん注	1	118	作付の10日前処理	圃場A:<0.002	圃場A:<0.001/<0.001	◎
					113	作付の10日前処理	圃場B:<0.002	圃場B:<0.001/<0.001	
らっきょう (鱗茎)	2	97.0% OL	30 L/10 a 土壌かん注	1	299	作付の10日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃)	◎
					292	作付の11日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃)	

1, 3-ジクロロプロペンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件					各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) 注1)	各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注2) 【E体/Z体】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	使用時期			
にんじん (根部)	3	55.0% OL	20 L/10 a 土壌かん注	1	153	作付の24日前処理	圃場A:<0.02 (＃)	圃場A:<0.01/<0.01 (＃) a	
					118	作付の11日前処理	圃場B:<0.02 (＃)	圃場B:<0.01/<0.01 (＃) a	
					122	作付の8日前処理	圃場C:<0.02 (＃)	圃場C:<0.01/<0.01 (＃) a	
	3		40 L/10 a 土壌かん注	1	153	作付の24日前処理	圃場A:<0.02 (＃)	圃場A:<0.01/<0.01 (＃) a	
					118	作付の11日前処理	圃場B:<0.02 (＃)	圃場B:<0.01/<0.01 (＃) a	
					122	作付の8日前処理	圃場C:<0.02 (＃)	圃場C:<0.01/<0.01 (＃) a	
	6	97.0% OL	30 L/10 a 土壌かん注	1	146	作付の20日前処理	圃場A:<0.006 (＃)	圃場A:<0.003/<0.003 (＃) \$ a	
					146	作付の14日前処理	圃場B:<0.01(＃)	圃場B:<0.005/<0.005 (＃)	
					118	作付の13日前処理	圃場C:<0.004(＃)	圃場C:<0.002/<0.002 (＃) \$ a	
					114	作付の12日前処理	圃場D:<0.004 (＃)	圃場D:<0.002/<0.002 (＃) \$ a	
					118	作付の13日前処理	圃場E:<0.002 (＃)	圃場E:<0.001/<0.001 (＃) a	
					160	作付の16日前処理	圃場F:<0.002 (＃)	圃場F:<0.001/<0.001 (＃) a	
バセリ (茎葉部)	2	97.0% OL	20 L/10 a 土壌かん注	1	136	作付の14日前処理	圃場A:<0.002	圃場A:<0.001/<0.001	◎
				115	作付の14日前処理	圃場B:<0.002	圃場B:<0.001/<0.001		
セルリー (茎葉部)	2	97.0% OL	20又は30 L/10 a 土壌かん注	1	123	作付の10日前処理	圃場A:<0.004 (＃)	圃場A:<0.002/<0.002 (＃) \$	◎
				150	作付の10日前処理	圃場B:<0.004	圃場B:<0.002/<0.002\$		
みつば (茎葉部)	2	97.0% OL	20又は30 L/10 a 土壌かん注	1	151	作付の13日前処理	圃場A:<0.005 (＃)	圃場A:<0.0025/<0.0025 (＃)	◎
				283	作付の14日前処理	圃場B:<0.002	圃場B:<0.001/<0.001		
トマト (果実)	2	55.0% OL	40 L/10 a 土壌かん注	1	74	作付の27日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃) a	
					74	作付の13日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃) a	
	4	97.0% OL	30 L/10 a 土壌かん注	1	96	作付の16日前処理	圃場A:<0.011 (＃)	圃場A:<0.006/<0.006 (＃) \$ a	◎
					92	作付の17日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃)	
					76	作付の10日前処理	圃場C:<0.002 (＃)	圃場C:<0.001/<0.001 (＃)	
					58	作付の12日前処理	圃場D:<0.002 (＃)	圃場D:<0.001/<0.001 (＃)	
ピーマン (果実)	4	97.0% OL	30 L/10 a 土壌かん注	1	103	作付の13日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃)	◎
					52	作付の14日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃)	
					59	作付の10日前処理	圃場C:<0.002 (＃)	圃場C:<0.001/<0.001 (＃)	
					66	作付の14日前処理	圃場D:<0.002 (＃)	圃場D:<0.001/<0.001 (＃)	
なす (果実)	4	97.0% OL	30 L/10 a 土壌かん注	1	111	作付の15日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃)	◎
					42	作付の14日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃)	
					64	作付の14日前処理	圃場C:<0.002 (＃)	圃場C:<0.001/<0.001 (＃)	
					35	作付の10日前処理	圃場D:<0.002 (＃)	圃場D:<0.001/<0.001 (＃)	
きゅうり (果実)	1	55.0% OL	20 L/10 a 土壌かん注	1	83, 89, 119	作付の8日前処理	圃場A:<0.02 (＃)	圃場A:<*0.01/*0.01 (*1回, 83日) (＃)	
	2		40 L/10 a 土壌かん注	1	83, 89, 119	作付の8日前処理	圃場A:<0.02 (＃)	圃場A:<*0.01/*0.01 (*1回, 83日) (＃)	
					54, 69, 84	作付の21日前処理	圃場B:<0.004 (＃)	圃場B:<*0.002/*0.002 (*1回, 54日) (＃)	
	6	97.0% OL	30 L/10 a 土壌かん注	1	59	作付の19日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃) a	◎
					36	作付の11日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃) a	
					55	作付の10日前処理	圃場C:<0.002 (＃)	圃場C:<0.001/<0.001 (＃)	
					50	作付の13日前処理	圃場D:<0.002 (＃)	圃場D:<0.001/<0.001 (＃) a	
49					作付の11日前処理	圃場E:<0.003 (＃)	圃場E:<0.001/<0.002 (＃)		
43	作付の14日前処理	圃場F:<0.003 (＃)	圃場F:<0.001/<0.002 (＃)						
かぼちゃ (果実)	4	97.0% OL	30 L/10 a 土壌かん注	1	86	作付の14日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃)	◎
					85	作付の16日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃)	
					86	作付の14日前処理	圃場C:<0.002 (＃)	圃場C:<0.001/<0.001 (＃)	
					77	作付の17日前処理	圃場D:<0.002 (＃)	圃場D:<0.001/<0.001 (＃)	
しろうり (果実)	4	97.0% OL	30 L/10 a 土壌かん注	1	84	作付の14日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃)	◎
					59	作付の15日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃)	
					70	作付の14日前処理	圃場C:<0.002 (＃)	圃場C:<0.001/<0.001 (＃)	
					77	作付の17日前処理	圃場D:<0.002 (＃)	圃場D:<0.001/<0.001 (＃)	
すいか (果肉)	2	55.0% OL	40 L/10 a 土壌かん注	1	104	作付の25日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.0008 (＃) a	◎
					96	作付の15日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.0008 (＃) a	
	4	97.0% OL	30 L/10 a 土壌かん注	1	92	作付の16日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃) a	
					90	作付の12日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃) a	
					87	作付の10日前処理	圃場C:<0.002 (＃)	圃場C:<0.001/<0.001 (＃)	
91	作付の13日前処理	圃場D:<0.002 (＃)	圃場D:<0.001/<0.001 (＃)						
メロン (果肉)	4	97.0% OL	30 L/10 a 土壌かん注	1	104	作付の14日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃)	◎
					119	作付の18日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃)	
					106	作付の14日前処理	圃場C:<0.002 (＃)	圃場C:<0.001/<0.001 (＃)	
					87	作付の13日前処理	圃場D:<0.002 (＃)	圃場D:<0.001/<0.001 (＃)	
まくわうり (果肉)	2	97.0% OL	30 L/10 a 土壌かん注	1	90	作付の16日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃)	◎
					83	作付の23日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃)	
にがうり (果実)	2	97.0% OL	30 L/10 a 土壌かん注	1	50, 57	作付の14日前処理	圃場A:<0.003 (＃)	圃場A:<*0.001/*0.002 (*1回, 50日) (＃)	◎
					72, 79	作付の15日前処理	圃場B:<0.003 (＃)	圃場B:<*0.001/*0.002 (*1回, 72日) (＃)	
ほうれんそう (茎葉部)	4	97.0% OL	30 L/10 a 土壌かん注	1	75	作付の14日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃)	◎
					48	作付の14日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃)	
					77	作付の10日前処理	圃場C:<0.002 (＃)	圃場C:<0.001/<0.001 (＃)	
					71	作付の11日前処理	圃場D:<0.002 (＃)	圃場D:<0.001/<0.001 (＃)	

1, 3-ジクロロプロペンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件					各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) ^{注1)}	各化合物の残留濃度 (mg/kg) ^{注2)} 【E体/Z体】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	使用時期			
オクラ (果実)	2	97.0% OL	30 L/10 a 土壌かん注	1	79, 86	作付の14日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/*<0.001 (*1回, 79日) (＃)	◎
					118, 125	作付の14日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/*<0.001 (*1回, 118日) (＃)	
菜しょうが (塊茎)	2	54.5% GA	30 L/10 a 土壌かん注	1	87	作付の10日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃)	
					90	作付の10日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃)	
しょうが (球茎)	2	97.0% OL	30 L/10 a 土壌かん注	1	136	作付の15日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃) a	◎
					140	作付の14日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃) a	
	2		20 L/10 a 土壌かん注	1	210	作付の10日前処理	圃場A:<0.002	圃場A:<0.001/<0.001	
					194	作付の10日前処理	圃場B:<0.002	圃場B:<0.001/<0.001	
さやえんどう (さや)	2	97.0% OL	20 L/10 a 土壌かん注	1	48	作付の10日前処理	圃場A:<0.002	圃場A:<0.001/<0.001	◎
					83	作付の10日前処理	圃場B:<0.002	圃場B:<0.001/<0.001	
さやいんげん (さや)	2	97.0% OL	20 L/10 a 土壌かん注	1	73	作付の10日前処理	圃場A:<0.002	圃場A:<0.001/<0.001	◎
					74	作付の10日前処理	圃場B:<0.002	圃場B:<0.001/<0.001	
えだまめ (さや)	1	55.0% OL	40 L/10 a 土壌かん注	1	127	作付の17日前処理	圃場A:<0.004 (＃)	圃場A:<0.002/<0.002 (＃) a	
	4	97.0% OL	30 L/10 a 土壌かん注	1	124	作付の14日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃) a	
					100	作付の14日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃) a	
					88	作付の10日前処理	圃場C:<0.002 (＃)	圃場C:<0.001/<0.001 (＃) a	
えだまめ (まめ)	2	55.0% OL	40 L/10 a 土壌かん注	1	105	作付の24日前処理	圃場D:<0.002 (＃)	圃場D:<0.001/<0.001 (＃)	
					75	作付の13日前処理	圃場A:<0.02 (＃)	圃場A:<0.01/<0.01 (＃) a	
	4	97.0% OL	30 L/10 a 土壌かん注	1	127	作付の17日前処理	圃場B:<0.004 (＃)	圃場B:<0.002/<0.002 (＃) a	
					124	作付の14日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃) a	
					100	作付の14日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃) a	
					88	作付の10日前処理	圃場C:<0.002 (＃)	圃場C:<0.001/<0.001 (＃) a	
えだまめ (さや・まめ)	2	97.0% OL	30 L/10 a 土壌かん注	1	105	作付の24日前処理	圃場D:<0.002 (＃)	圃場D:<0.001/<0.001 (＃)	◎
					88	作付の10日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃)	
うど (軟白茎)	2	97.0% OL	20 L/10 a 土壌かん注	1	278	作付の17日前処理	圃場A:<0.02	圃場A:<0.01/<0.01	◎
					278	作付の17日前処理	圃場B:<0.02	圃場B:<0.01/<0.01	
つるむらさき (茎葉部)	2	97.0% OL	20 L/10 a 土壌かん注	1	30, 44, 58	作付の14日前処理	圃場A:<0.001(*1回, 30日)	圃場A:-/-	
					29, 43, 57	作付の14日前処理	圃場B:<0.001(*1回, 29日)	圃場B:-/-	
いちご (果実)	2	55.0% OL	20 L/10 a 土壌かん注	1	206, 209, 213	作付の10日前処理	圃場A:<0.004 (＃)	圃場A:<0.002/*<0.002 (*1回, 206日) (＃) a	
					126, 140, 151	作付の29日前処理	圃場B:<0.004 (＃)	圃場B:<0.002/*<0.002 (*1回, 126日) (＃) a	
	2		40 L/10 a 土壌かん注	1	206, 209, 213	作付の10日前処理	圃場A:<0.004 (＃)	圃場A:<0.002/*<0.002 (*1回, 206日) (＃) a	
					126, 140, 151	作付の29日前処理	圃場B:<0.004 (＃)	圃場B:<0.002/*<0.002 (*1回, 126日) (＃) a	
	4	97.0% OL	30 L/10 a 土壌かん注	1	152, 165	作付の11日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/*<0.001 (*1回, 152日) (＃) a	◎
					164, 166	作付の14日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/*<0.001 (*1回, 166日) (＃) a	
					170	作付の10日前処理	圃場C:<0.002 (＃)	圃場C:<0.001/<0.001 (＃)	
					224	作付の17日前処理	圃場D:<0.002 (＃)	圃場D:<0.001/<0.001 (＃)	
みょうが (花穂)	2	97.0% OL	30 L/10 a 土壌かん注	1	203	作付の13日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃)	
					197	作付の13日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃)	
しそ (葉部)	2	97.0% OL	33.3又は30.5 L/10 a 土壌かん注	1	85	作付の14日前処理	圃場A:<0.002 (＃)	圃場A:<0.001/<0.001 (＃)	
					41	作付の9日前処理	圃場B:<0.002 (＃)	圃場B:<0.001/<0.001 (＃)	
しそ (花穂)	2	97.0% OL	29又は40 L/10 a 土壌かん注	1	55	作付の15日前処理	圃場A:<0.005 (＃)	圃場A:<0.0025/<0.0025 (＃)	◎
					47	作付の10日前処理	圃場B:<0.005 (＃)	圃場B:<0.0025/<0.0025 (＃)	

OL：油剤

GA：くん蒸剤

-：分析せず

(＃)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

\$：同一圃場から採取された1つのサンプルを2つの分析機関に分けて測定されており、結果を平均値として示したため、実際の定量限界とは異なる。

a：保存安定性試験において、試料中の本品の安定性が十分に確認されなかった試験結果。

基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。

注1) 1, 3-ジクロロプロペン (E体) 及び1, 3-ジクロロプロペン (Z体) の合計濃度を示した。

注2) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験 (いわゆる最大使用条件下の作物残留試験) を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について () 内に記載した。

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
大豆	0.01	0.01	○			※1
らっかせい	0.01	0.01	○			<0.002, <0.002(＃)(¥)
ばれいしょ	0.01	0.01	○			※1
さといも類(やつがしらを含む。)	0.01	0.01	○			<0.002, <0.002(＃)(¥)
かんしょ	0.01	0.01	○			※1
やまいも(長いもをいう。)	0.01	0.01	○			<0.002, <0.002(＃)(¥)
こんにゃくいも	0.01	0.01	○			<0.002, <0.002(＃)(¥)
てんさい	0.01	0.01	○			※1
だいこん類(ラディッシュを含む。)	0.01	0.01	○			<0.002, <0.002(¥) (はつかだいこん)
だいこん類(ラディッシュを含む。)	0.01	0.01	○			<0.002, <0.002(¥) (はつかだいこん)
かぶ類の根	0.01	0.01	○			<0.002(＃)(n=4)
かぶ類の葉	0.01	0.01	○			<0.002(＃)(n=4)
はくさい	0.01	0.01	○			<0.002, <0.002, <0.002(＃)
キャベツ	0.01	0.01	○			<0.002, <0.002(＃)(¥)
ケール	0.01	0.01	○			<0.002, <0.002(¥)(こまつな) (ケール参照)
こまつな	0.01	0.01	○			<0.002, <0.002(¥)(みずな)
きょうな	0.01	0.01	○			<0.002, <0.002(¥)
チンゲンサイ	0.01	0.01	○			<0.002, <0.002(¥)
カリフラワー	0.01	0.01	○			<0.002, <0.002, <0.002 (ブロッコリー)
ブロッコリー	0.01	0.01	○			(カリフラワー参照)
その他のあぶらな科野菜	0.01	0.01	○			(ケール参照)
ごぼう	0.01	0.01	○			<0.002(＃)(n=4)
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	0.01	0.01	○			<0.002, <0.02(＃) ※1
その他のきく科野菜	0.01	0.01	○			<0.005, <0.005(もりあざみ) ※1
たまねぎ	0.01	0.01	○			<0.002(＃)(n=4)
ねぎ(リーキを含む。)	0.01	0.01	○			<0.011(根深ねぎ), <0.011 (葉ねぎ) ※1
にんにく	0.01	0.01	○			<0.002, <0.002(＃)(¥)
にら	0.01	0.01	○			<0.002, <0.002(¥)
わけぎ	0.01	0.01	○			(ねぎ(リーキを含む。))参照 ※1
その他のゆり科野菜	0.01	0.01	○			<0.002, <0.002(＃)(¥)(らっきょう)
にんじん	0.01	0.01	○			※1
パセリ	0.01	0.01	○			<0.002, <0.002(¥)
セロリ	0.01	0.01	○			<0.004, <0.004(＃) ※1
みつば	0.01	0.01	○			<0.002, <0.005(＃) ※1
その他のせり科野菜	0.01	0.01	○			(セロリ参照) ※1
トマト	0.01	0.01	○			<0.002, <0.002, <0.002(＃)
ピーマン	0.01	0.01	○			<0.002(＃)(n=4)
なす	0.01	0.01	○			<0.002(＃)(n=4)
その他のなす科野菜	0.01	0.01	○			(ピーマン参照)
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.01	0.01	○			<0.002, <0.003, <0.003(＃)
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.01	0.01	○			<0.002(＃)(n=4)
しろうり	0.01	0.01	○			<0.002(＃)(n=4)
すいか	0.01	0.01	○			<0.002, <0.002(＃)(¥)
メロン類果実	0.01	0.01	○			<0.002(＃)(n=4)
まくわうり	0.01	0.01	○			<0.002, <0.002(＃)(¥)
その他のうり科野菜	0.01	0.01	○			<0.003, <0.003(＃) (にがうり) ※1

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
ほうれんそう	0.01	0.01	○			<0.002(#)(n=4)
オクラ	0.01	0.01	○			<0.002,<0.002(#)(¥)
しょうが	0.01	0.01	○			<0.002,<0.002(¥)
未成熟えんどう	0.01	0.01	○			<0.002,<0.002(¥)(さやえんどう)
未成熟いんげん	0.01	0.01	○			<0.002,<0.002(¥) (さやいんげん)
えだまめ	0.01	0.01	○			<0.002,<0.002(#)(¥)
その他の野菜	0.01	0.01	○			<0.02,<0.02(うど)※1
いちご	0.01	0.01	○			<0.002,<0.002(#)(¥)
その他のハーブ	0.01	0.01	○			<0.005,<0.005(#) (しその花穂)※1
はちみつ	0.05					※2
ミネラルウォーター類	0.02	0.02		0.02 ^{注)}		

太枠: 本基準(暫定基準以外の基準)を見直した基準値

○: 既に、国内において登録等がされているもの

(#): 適用の範囲内で試験が行われていない作物残留試験成績

(¥): 基準値設定の根拠とした作物残留試験成績(最大値)

注) WHO飲料水水質ガイドラインのガイドライン値に基づき設定。ガイドライン値とは、WHOにおいて各国の規制当局と給水サービス提供者による飲料水水質の維持・向上を目的に設定されるWHO飲料水水質ガイドラインにおいて、飲料水水質を評価するための基礎となる数値であり、生涯にわたって摂取した場合、摂取者の健康に重大なリスクを起こさない濃度を示す。

※1) 本剤の使用方法は土壌かん注であること、本剤は土壌中で速やかに分解され(分解半減期は約55日)、植物代謝試験において親化合物及び代謝物の残留は10%TRR未満であること、提出されたすべての作物残留試験において残留濃度は定量限界未満であったことから、「食品中の農薬の残留基準設定の基本原則について」(令和6年6月25日食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会)の別添5「残留性が極めて低い農薬の基準値設定の考え方について」に基づき、基準値案を0.01 ppmと設定した。なお、大豆、ばれいしょ、かんしょ、てんさい及びにんじんについては、試料保存期間中の本剤の安定性が十分に確認されていないことから、作物残留試験成績を示していない。

※2) 「食品中の農薬の残留基準設定の基本原則について」(令和6年6月25日食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会)の別添3「はちみつ中の農薬等の基準設定の方法について」に基づき設定した。

1,3-ジクロロプロペンの推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{日}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
大豆	0.01	* 0.01	0.4	0.2	0.3	0.5
らっかせい	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
ばれいしょ	0.01	* 0.01	0.4	0.3	0.4	0.4
さといも類 (やつがしらを含む。)	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
かんしょ	0.01	* 0.01	0.1	0.1	0.1	0.1
やまいも (長いものをいう。)	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
こんにゃくいも	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
てんさい	0.01	* 0.01	0.3	0.3	0.4	0.3
だいこん類 (ラディッシュを含む。) の根	0.01	0.002	0.1	0.0	0.0	0.1
だいこん類 (ラディッシュを含む。) の葉	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
かぶ類の根	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
かぶ類の葉	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
はくさい	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
キャベツ	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
ケール	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
こまつな	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
きょうな	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
チンゲンサイ	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
カリフラワー	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
ブロッコリー	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のあぶらな科野菜	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
ごぼう	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	0.01	* 0.01	0.1	0.0	0.1	0.1
その他のきく科野菜	0.01	0.005	0.0	0.0	0.0	0.0
たまねぎ	0.01	0.002	0.1	0.0	0.1	0.1
ねぎ (リーキを含む。)	0.01	* 0.01	0.1	0.0	0.1	0.1
にんにく	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
にら	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
わけぎ	0.01	* 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のゆり科野菜	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
にんじん	0.01	* 0.01	0.2	0.1	0.2	0.2
パセリ	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
セロリ	0.01	0.004	0.0	0.0	0.0	0.0
みつば	0.01	0.004	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のせり科野菜	0.01	0.004	0.0	0.0	0.0	0.0
トマト	0.01	0.002	0.1	0.0	0.1	0.1
ピーマン	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
なす	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のなす科野菜	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
きゅうり (ガーキンを含む。)	0.01	0.003	0.1	0.0	0.0	0.1
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
しろうり	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
すいか	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
メロン類果実	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
まくわうり	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のうり科野菜	0.01	0.003	0.0	0.0	0.0	0.0
ほうれんそう	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
オクラ	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
しょうが	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
未成熟えんどう	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
未成熟いんげん	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
えだまめ	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の野菜	0.01	* 0.01	0.3	0.1	0.2	0.3
いちご	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のハーブ	0.01	0.005	0.0	0.0	0.0	0.0

1,3-ジクロロプロペンの推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{日}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
はちみつ	0.05	● 0.05	0.0	0.0	0.1	0.1
計			2.5	1.5	2.4	2.7
ADI比 (%)			0.2	0.4	0.2	0.2

EDI: 推定一日摂取量 (Estimated Daily Intake)

EDI試算法: 作物残留試験成績の中央値 (STMR) 等×各食品の平均摂取量

*: 暴露評価には基準値 (案) を用いた。

●: 個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値 (案) の数値を用いた。

1,3-ジクロロプロペンの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重)	ESTI/ARFD (%)
大豆	大豆	0.01	0.01	0.0	0
らっかせい	らっかせい	0.01	0.01	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.01	0.01	0.1	0
さといも類（やつがしらを含む。）	さといも	0.01	0.01	0.1	0
かんしょ	かんしょ	0.01	0.01	0.1	0
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.01	0.01	0.1	0
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.01	0.01	0.1	0
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	だいこんの葉	0.01	0.01	0.1	0
かぶ類の根	かぶの根	0.01	○ 0.002	0.0	0
かぶ類の葉	かぶの葉	0.01	○ 0.002	0.0	0
はくさい	はくさい	0.01	0.01	0.1	0
キャベツ	キャベツ	0.01	0.01	0.1	0
ケール	ケール	0.01	0.01	0.1	0
こまつな	こまつな	0.01	0.01	0.0	0
きょうな	きょうな	0.01	0.01	0.0	0
チンゲンサイ	チンゲンサイ	0.01	0.01	0.1	0
カリフラワー	カリフラワー	0.01	0.01	0.1	0
ブロッコリー	ブロッコリー	0.01	0.01	0.1	0
その他のあぶらな科野菜	たかな	0.01	0.01	0.1	0
	菜花	0.01	0.01	0.0	0
ごぼう	ごぼう	0.01	○ 0.002	0.0	0
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	0.01	0.01	0.1	0
たまねぎ	たまねぎ	0.01	○ 0.002	0.0	0
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	0.01	0.01	0.0	0
にんにく	にんにく	0.01	0.01	0.0	0
にら	にら	0.01	0.01	0.0	0
わけぎ	わけぎ	0.01	0.01	0.0	0
その他のゆり科野菜	にんにくの芽	0.01	0.01	0.0	0
	らっきょう	0.01	0.01	0.0	0
にんじん	にんじん	0.01	0.01	0.0	0
	にんじんジュース	0.01	0.01	0.1	0
パセリ	パセリ（生）	0.01	0.01	0.0	0
	パセリ（乾燥）	0.01	0.01	0.0	0
セロリ	セロリ	0.01	0.01	0.1	0
みつば	みつば	0.01	0.01	0.0	0
その他のせり科野菜	せり	0.01	0.01	0.0	0
トマト	トマト	0.01	0.01	0.1	0
ピーマン	ピーマン	0.01	○ 0.002	0.0	0
なす	なす	0.01	○ 0.002	0.0	0
その他のなす科野菜	とうがらし（生）	0.01	○ 0.002	0.0	0
	ししとう	0.01	○ 0.002	0.0	0
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	0.01	0.01	0.1	0
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	0.01	○ 0.002	0.0	0
	ズッキーニ	0.01	○ 0.002	0.0	0
しろうり	しろうり	0.01	○ 0.002	0.0	0
すいか	すいか	0.01	0.01	0.3	0
メロン類果実	メロン	0.01	○ 0.002	0.0	0
その他のうり科野菜	とうがん	0.01	0.01	0.2	0
	にがうり	0.01	0.01	0.1	0
ほうれんそう	ほうれんそう	0.01	○ 0.002	0.0	0
オクラ	オクラ	0.01	0.01	0.0	0
しょうが	しょうが	0.01	0.01	0.0	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	0.01	0.01	0.0	0
	未成熟えんどう（豆）	0.01	0.01	0.0	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.01	0.01	0.0	0
えだまめ	えだまめ	0.01	0.01	0.0	0

1,3-ジクロロプロペンの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI (μ g/kg体重)	ESTI/ARFD (%)
その他の野菜	ずいき	0.01	0.01	0.1	0
	もやし	0.01	0.01	0.0	0
	れんこん	0.01	0.01	0.1	0
	そら豆(生)	0.01	0.01	0.0	0
いちご	いちご	0.01	0.01	0.0	0
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.0	0

ESTI：短期推定摂取量 (Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARFD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値を使用した。

1,3-ジクロロプロペンの推定摂取量（短期）：幼児（1～6歳）

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重)	ESTI/ARFD (%)
大豆	大豆	0.01	0.01	0.0	0
らっかせい	らっかせい	0.01	0.01	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.01	0.01	0.2	0
さといも類（やつがしらを含む。）	さといも	0.01	0.01	0.1	0
かんしょ	かんしょ	0.01	0.01	0.3	0
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.01	0.01	0.1	0
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.01	0.01	0.2	0
はくさい	はくさい	0.01	0.01	0.2	0
キャベツ	キャベツ	0.01	0.01	0.2	0
こまつな	こまつな	0.01	0.01	0.1	0
ブロッコリー	ブロッコリー	0.01	0.01	0.1	0
ごぼう	ごぼう	0.01	○ 0.002	0.0	0
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	0.01	0.01	0.1	0
たまねぎ	たまねぎ	0.01	○ 0.002	0.0	0
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	0.01	0.01	0.1	0
にんにく	にんにく	0.01	0.01	0.0	0
にら	にら	0.01	0.01	0.0	0
にんじん	にんじん	0.01	0.01	0.1	0
パセリ	パセリ（生）	0.01	0.01	0.0	0
トマト	トマト	0.01	0.01	0.3	0
ピーマン	ピーマン	0.01	○ 0.002	0.0	0
なす	なす	0.01	○ 0.002	0.0	0
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	0.01	0.01	0.1	0
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	0.01	○ 0.002	0.0	0
すいか	すいか	0.01	0.01	0.9	0
メロン類果実	メロン	0.01	○ 0.002	0.1	0
ほうれんそう	ほうれんそう	0.01	○ 0.002	0.0	0
オクラ	オクラ	0.01	0.01	0.0	0
しょうが	しょうが	0.01	0.01	0.0	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	0.01	0.01	0.0	0
	未成熟えんどう（豆）	0.01	0.01	0.0	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.01	0.01	0.0	0
えだまめ	えだまめ	0.01	0.01	0.0	0
その他の野菜	もやし	0.01	0.01	0.0	0
	れんこん	0.01	0.01	0.1	0
いちご	いちご	0.01	0.01	0.1	0
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.1	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARFD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値を使用した。

(参考)

これまでの経緯

昭和25年	3月10日	初回農薬登録
平成17年	11月29日	残留基準告示
平成20年	2月19日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：レタス、ほうれんそう等）
平成20年	3月 3日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成23年	11月 7日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：みずな、チンゲンサイ等）
平成25年	2月18日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成25年	10月21日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成26年	8月 8日	残留基準告示
平成26年	12月 4日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：非結球あぶらな科葉菜類等）
平成27年	2月13日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成27年	10月20日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成28年	5月27日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成29年	2月23日	残留基準告示
平成28年	11月18日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：せり科葉菜類）
平成29年	3月15日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成30年	3月27日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成30年	7月12日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成31年	3月20日	残留基準告示
令和 元年	8月 8日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：カリフラワー及びブロッコリー）
令和 元年	9月 5日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和 元年	10月15日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評

			価について通知
令和	元年	12月20日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
令和	2年	7月14日	残留基準告示
令和	4年	12月14日	農林水産大臣から食品安全委員会委員長あてに農薬の再評価に係る食品健康影響評価について要請
令和	6年	3月7日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣及び農林水産大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和	8年	6月8日	農林水産省から消費者庁へ農薬の再評価に係る連絡
令和	8年	7月1日	食品衛生基準審議会へ諮問
令和	8年	7月14日	食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

● 食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

大山	和俊	一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長
○折戸	謙介	学校法人麻布獣医学園理事（兼）麻布大学獣医学部教授
加藤	くみ子	国立医薬品食品衛生研究所薬品部長
近藤	麻子	日本生活協同組合連合会執行役員組織推進本部本部長
須恵	雅之	東京農業大学応用生物科学部教授
瀧本	秀美	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所理事
田口	貴章	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
◎堤	智昭	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
中島	美紀	金沢大学ナノ生命科学研究所（薬学系兼任）教授
野田	隆志	一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問

(◎：部会長、○：部会長代理)

答申（案）

1,3-ジクロロプロペンについては、以下のとおり食品中の農薬の残留基準を設定することが適当である。

1,3-ジクロロプロペン

今回残留基準を設定する「1,3-ジクロロプロペン」の規制対象は、1,3-ジクロロプロペン（*E*体）及び1,3-ジクロロプロペン（*Z*体）とする。

食品名	残留基準値 ppm
大豆	0.01
らっかせい	0.01
ばれいしょ	0.01
さといも類（やつがしらを含む。）	0.01
かんしょ	0.01
やまいも（長いものをいう。）	0.01
こんにゃくいも	0.01
てんさい	0.01
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.01
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	0.01
かぶ類の根	0.01
かぶ類の葉	0.01
はくさい	0.01
キャベツ	0.01
ケール	0.01
こまつな	0.01
きょうな	0.01
チンゲンサイ	0.01
カリフラワー	0.01
ブロッコリー	0.01
その他のあぶらな科野菜 ^{注1)}	0.01
ごぼう	0.01
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	0.01
その他のきく科野菜 ^{注2)}	0.01
たまねぎ	0.01
ねぎ（リーキを含む。）	0.01
にんにく	0.01
にら	0.01
わけぎ	0.01

食品名	残留基準値 ppm
その他のゆり科野菜 ^{注3)}	0.01
にんじん	0.01
パセリ	0.01
セロリ	0.01
みつば	0.01
その他のせり科野菜 ^{注4)}	0.01
トマト	0.01
ピーマン	0.01
なす	0.01
その他のなす科野菜 ^{注5)}	0.01
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.01
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.01
しろうり	0.01
すいか	0.01
メロン類果実	0.01
まくわうり	0.01
その他のうり科野菜 ^{注6)}	0.01
ほうれんそう	0.01
オクラ	0.01
しょうが	0.01
未成熟えんどう	0.01
未成熟いんげん	0.01
えだまめ	0.01
その他の野菜 ^{注7)}	0.01
いちご	0.01
その他のハーブ ^{注8)}	0.01
はちみつ	0.05
ミネラルウォーター類	0.02

注1) 「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類（ラディッシュを含む。）の根、だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。

注2) 「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）及びハーブ以外のものをいう。

注3) 「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ（リーキを含む。）、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。

注4) 「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注5) 「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。

注6) 「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり（ガーキンを含む。）、かぼちゃ（スカッシュを含む。）、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。

注7) 「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注8) 「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。